

## 活動状況の写真（2007年度）



南あわじ市倭文中学校出前実験教室



おもしろ化学実験教室（西宮）



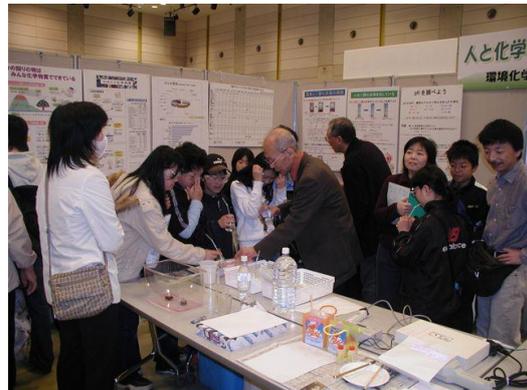
コープ緑が丘出前教室



おもしろ化学実験教室（尼崎）



ひょうごエコフェスタ電池実験



明石環境フェア（ローソク実験）

明石環境フェア出展の神戸新聞明石版（20年3月17日朝刊）記事  
 下の写真がローソク実験を説明中の当会藤橋氏

新 戸 申

(第3種郵便物認可)

## リサイクルや省エネ楽しく習得

子どもらに体験型ブース人気

# クイズや実験に笑顔

地球温暖化やごみ減量などの環境問題を啓発する明石市主催の「あかし環境フェア」が16日、市立産業交流センター（大久保町のき通）で開かれた。多くの家族連れが、体験型ブースや「地産地消」がテーマのフードコーナーを訪れ、環境を学ぶことの大切さを学んでいた。

（水田憲亮）

同センター一階には、環境保全に取り組む市民団体や企業が計十六のブースを並べた。子どもたちは各ブースを巡り、省エネや資源リサイクルを売、フリーマーケットの分りやすく説明したクイズや実験を楽しんだ。屋外テントも多くの人でにぎわった。

ステージでは、魚住小の児童と明石高等学校の学生が環境学習の取り組みを学んだ。大久保南小一年生は、木の観察会の「コップをかぶせると、成果を劇のスタイルで発表し、大きな拍手を浴びかかった」と笑顔で話していた。また、地元明石の玉子焼きや農産物販売のブースでも、子どもたちが笑顔で話していた。

環境フェア

体験型ブースが並んだ環境フェア。魚や動物のバスルで遊ぶ子どもたち。いずれも大久保町のき通、市立産業交流センター

火が燃える仕組みを紹介する実験コーナーも



炭電池実験三態





水生生物調査（三木市志染川）



忍者絵具で絵を画いた（明石）



水生生物調査（社高校生物教室）